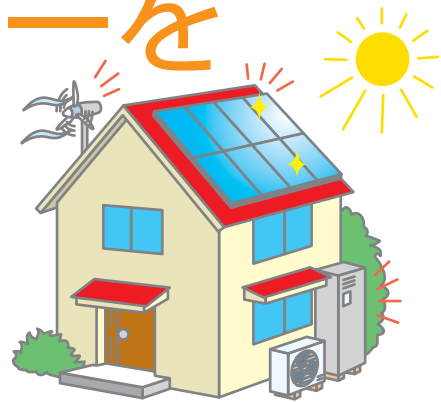


自然のエネルギーを 活用しよう

太陽や風など自然の力を利用して電気などのエネルギーをつくり出すのが自然エネルギーシステム。クリーンで経済的なエネルギーが生まれます。



■ 太陽の光で自家発電 太陽光発電

家の屋根などに太陽電池を設置し、太陽の光エネルギーを直接電気に変えるもの。つくられた電気は、家庭で照明器具や家電製品などに使います。

太陽電池は、光を受ける部分の面積が広いほど、より多く発電します。3〜4 kW程度の太陽光パネルを設置すれば、日本の平均的な

太陽光発電には 補助や融資があります

住宅用太陽光発電を設置する場合、補助や融資が受けられます。国の補助金のほかに市町によっては独自に制度を導入しています。

補助

(財)新エネルギー財団 TEL03(5275)3046
<http://www.solar.nef.or.jp/index1.htm>

相生市	環境課	TEL0791(23)7131
朝来市	生活環境課	TEL079(672)3301
猪名川町	生活環境課	TEL072(766)0001
稲美町	生活環境課	TEL0794(92)9140
三田市	環境課	TEL079(559)5065
洲本市	環境整備課	TEL0799(22)3321
豊岡市	生活環境課	TEL0796(23)1111
南あわじ市	企画調整課	TEL0799(50)3032

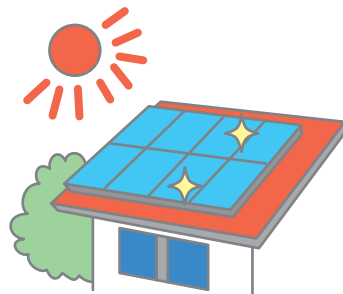
融資

神戸市 地球環境課 TEL078(322)5301

融資あっせんと利子補給

伊丹市 住宅課 TEL072(784)8061

4人家族が使用する電力の大部分をまかなうことができます。既存の屋根に後付けできるもの、屋根材一体型のものがあります。

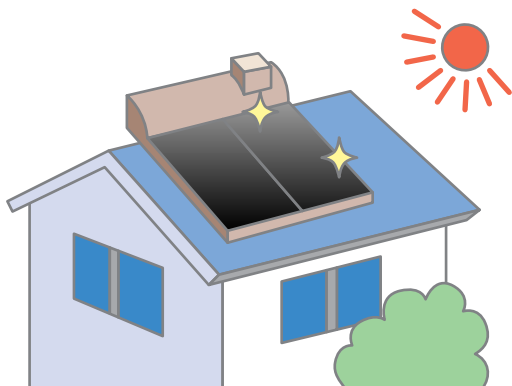


■ 太陽の熱でお湯を沸かす 太陽熱利用

家の屋根などに設置した集熱器で、太陽の熱エネルギーを集めて温水をつくり、お風呂やキッチンに給湯します。

お湯の圧力が高い水道直結型や高性能集熱器により高温のお湯がつくれるもの、水道圧の一部を利用しており庭先などにも設置できるものなど、いろいろあります。

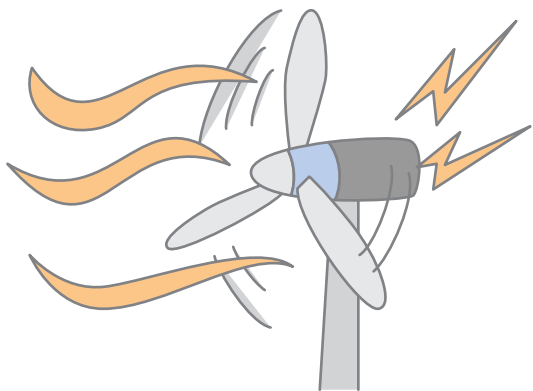
また、昼間に太陽熱を床に蓄え、深夜に放熱により家全体を暖めるソーラーシステムにより、冬も快適に過ごせます。



風の力を電気に変える

風力発電

風の力で風車を回し、そのエネルギーを電力に変換します。最近では価格を抑えた家庭向けの小型の風力発電装置も登場。1kW程度の出力ですが、蓄電が可能で、補助電源としても使えます。庭に設置したり、鉄筋コンクリートの住宅の屋上やベランダなどに取り付けることができます。



知恵と工夫で環境に調和した暮らしを

日本には、四季を快適に過ごすための古来の知恵や工夫がたくさんあります。これらを日々の暮らしに取り入れ、実行することで、さらに健やかで省エネルギーの生活を送ることができます。



● 植栽

緑にはヒートアイランド現象の緩和、紫外線の吸収、癒やしの効果など、さまざまな効果があることが認められています。草や木の葉から水分が蒸発するため、木の下や周辺は気温がやや低くなり、涼しく感じられます。

窓辺に樹木を植えると直射日光を遮り、外気温も低く抑えるという二重の効果をもたらします。

● 打ち水



涼を得るため、昔から行われてきた日本人の知恵の一つです。地面にまいた水が蒸発する時、地表面の温度が下がり、熱放射を和らげることによって気温の低下を促します。

利用する水は、水道水ではなく二次利用水。例えば、雨水や風呂の残り湯、エアコンの室外機に溜まった水など、生活の中での水を再利用しましょう。

水を打つ場所は路面だけでなく、建物の屋上やベランダでも、壁打ちでも、室外機でも効果があります。朝夕の涼しい時間帯に、日向よりも日陰や風通しの良い場所に、できる限り広範囲にすると効果が持続するようです。

2003年からは、みんなで一斉に打ち水をするのでヒートアイランド現象に対抗し、さらに打ち水の有効性を検証する市民参加型社会実験として「打ち水大作戦」(<http://www.uchimizu.jp>)が展開されています。

● すだれ

窓の外側、軒先につるせば通気しながら日差しを防ぐとともに、室内に日射熱が入るのを遮ります。特に、西面、南面の窓には効果大です。

冷房の室外機に直接日光が当たっている場合にも、すだれなどで日差しを遮ると省エネ効果が上がります。

